

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスかがやき		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (放課後等デイサービス職員含む)	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関(学校・家庭・事業所)間の連携・橋渡し機能	訪問時に得た情報を、保護者、学校だけでなく放課後等デイサービス等とも迅速に共有。多角的な視点から児童の様子を捉え、支援の方向性を統一している。	ICTツールや連絡帳の活用をさらに進め、リアルタイムでの情報共有精度を高める。また、三者会議等の開催を積極的に提案し、共通理解を深める場を増やす。
2	具体的で実践的な助言・情報提供能力	福祉の専門知識をベースに、担任の先生や保護者がその場ですぐに実践できる具体的な支援方法(視覚提示や環境構成等)を分かりやすく伝えている。	支援技術の更なる向上のため、スタッフ間の事例検討会を定期化する。また、最新の福祉機器やアプリ等の情報収集を強化し、提案の幅を広げる
3	相談に対する迅速・適切な対応力と、きめ細やかな情報共有	訪問時だけでなく、電話や連絡帳等を活用して保護者や先生方からの質問に適時・適切に回答し、不安の解消に努めている。また、日頃から相談しやすい関係性づくりを意識している。	訪問回数に限られる場合でも、事業所と気軽に連絡が取れるよう窓口や連絡手段を改めてアナウンスする。また、事業所内でのケース会議を充実させ、担当者以外でも迅速に一次対応ができる体制を整える。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材育成	訪問員出来る職員が現在1名となっており、放課後等デイサービス事業と兼任しているため、訪問回数がかぎられてしまう。	学校、保護者と密に連絡を取り合い、直接訪問と相談対応を必要に応じて実施する。訪問員として配置出来る職員の育成と人材確保を行う。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービスかがやき

公表日 2026年1月27日

利用児童数 3

回収数 3

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			2	教材等を使っているかはわからない。	訪問支援時の教材の仕様はない。訪問先に、構造化や資格支援を提案することはある。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					個別の相談、報告等は個室で対応
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					関係機関との連携、情報共有を目的として実施
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					訪問日が決定した際は事前にお知らせをし、その科目を選択肢した意図を伝える
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1			2	一人しか知らない	現在訪問員は1名体制。人材育成を行い、必要に応じて訪問員を増やしたい
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					放課後等デイサービス利用時の様子と合わせ、支援内容を学校と協議している
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					保護者のニーズと学校での様子を踏まえ支援計画を作成
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2			1		計画は学校と協議し、作成。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			2	ガイドラインを見たことがない	ガイドラインに沿って支援を行う
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					計画に沿った支援を実施
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					訪問先の負担にならないよう日程や支援方法を調整
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					契約時に説明。負担額等の変更があった場合はその都度説明。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					支援計画に沿った支援内容の報告を行う
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1		1	放課後等デイサービスの研修会に参加	訪問支援事業所としてのペアレントトレーニングの実施は無い。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					報告書や電話連絡にて状況の共有を行い、定期的な個別支援計画の共有と見直し
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					年2回以上の定期面談の実施。電話やLINE等での随時相談窓口の設置。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					傾聴、寄り添った支援を心がける
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					苦情解決責任者の配置。意見箱の設置。重要事項説明書での相談窓口の周知。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					視覚支援（写真やイラスト）の活用している
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					学校や保育所等との定期的な情報交換会（ケース会議）の実施。訪問支援の記録共有。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					訪問支援記録の作成と、訪問先担当者との振り返り会議の実施。支援方針の書面共有
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					訪問支援終了後、速やかに（当日～数日内）保護者へ報告書や連絡帳で内容を共有。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			2	放課後等デイサービスのSNSは見ている	訪問支援事業所としてのSNS発信は行っていない
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					個人情報保護方針の掲示。職員への守秘義務研修。書類の施錠管理・電子データのパスワード設定を実施
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					放課後等デイサービス事業所あわせ安全計画策定と保護者へ共有
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					クラス全体の状況を見て、本人との対話や、心理的負担に配慮した支援を実施
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	1			もっと訪問回数を増やしてもらいたい	支援頻度を上げ、より密な連携、支援を行う。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年2月1日

こどもデイサービスかがやき

利用児童数

3校

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			福祉の支援について具体的に知ることが出来て助かっている	学校ですぐに実践できるような具体的かつ分かりやすい助言・情報提供に努める
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		訪問回数が少ないため、判断できない	訪問時以外（電話や担当者会議等）での進捗確認や情報共有を強化し、安心感を持っていただけるよう努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3			情報共有が出来ている。	いつでも気軽に質問や相談ができる迅速なレスポンス体制を継続します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			学校と家庭、放課後等デイサービス事業所での様子を踏まえた支援と、支援の統一が図れる	児童の取り巻く環境全体で一貫した支援が行われるよう、ハブとしての役割を強化する
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			今後ともよろしくお願いします	現状の支援を継続。訪問支援の頻度に加え、連絡、会議等の情報共有を密度を挙げる
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
					・いつも様々なご理解とご協力をありがとうございます。子どもたちの支援に加え、福祉サービス全般に関する情報共有。学校、ご家庭、事業所の連携強化のため、支援を行います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスかがやき		公表日		2026年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5		必要に応じ、支援に必要な教材の提案を行う	必要に応じて対応	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	現状の利用人数であれば良い。 人数が増えると支援回数を増やせる	人員確保と人材育成を行う	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	5		PDCAを意識した業務遂行を行っている	継続	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議を設け話し合いを行い業務改善に繋げ ている。保護者様の意見やお気持ちを聞き支 援の励みにもなっている。	継続	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	5		会議を設け業務改善に繋げている。	継続	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	5		第三者委員会を設置。第三者委員の方より毎 月ご意見をいただき業務改善に繋げている。	継続	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人主催の研修、施設外の研修に参加。	継続	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	5		計画策定会議を行い、職員間で計画作成をし ている。	継続	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		その都度検討を行い話し合い、支援の方向性 を定めている。	継続	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		今後もしっかり課題の分析を行い、計画に反 映していく。	継続	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5		常に職員間で情報共有して対応している。 計画は全職員が入った会議にて見直し、検討 されている。	継続	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	5		契約前見学、契約時、相談員の偏り情報をお 聞きし、アセスメントシートの作成をしてい る。	継続	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	3	放課後等デイサービス職員に保育所等訪問支 援ガイドラインの確認を義務付けていないた め、知らない職員もいる	継続	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5		定期的に見直しを行い、現在の状況に合った ものを作成している。	継続	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	5		実施前に現状の確認と保護者の要望を確認を 行う	継続	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後は事業所職員に状況の報告を行い、放 課後等デイサービスの支援の検討を行う	継続	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	5		学校と協議し、支援方法に相違が起きないよ うにしている。	継続		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	5		支援後、事業所にて報告書の作成。保護者様 へお渡ししている。	継続		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	継続
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議へ参加し、情報共有を行う	継続
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係期間と連携をとり、役割分担を明確にする。他機関より必要な助言をいただいている	継続
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		高校卒業を控えた利用児童に対して、卒業後の福祉サービスの利用や、就労に関する上表提供と共有を行う	継続
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		法人内外の研修に積極的に参加	継続
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5		毎月参加（本年より児童部会部会長に就任）	継続
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		放課後等デイサービス利用時の送迎時、電話等にて情報共有している	継続
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		個別面談時に家庭での悩み等に対する相談助言等を行っている。	・研修会の開催を検討
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や変更があった際に個別に説明を行う	継続
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		年度当初に必ず訪問し、校長、担任、特別支援コーディネーター等へ説明をしている。	継続
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		意思決定支援を大事にしている。将来を見据えた際の支援も行っている。	継続
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		年に2回以上は説明の場を設け保護者様より同意を得ている。	継続
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		放課後等デイサービス利用時の送迎時、電話等にて相談を受け付けている	継続
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	訪問支援事業における保護者会開催等は予定していない。	放課後等デイサービス事業と合わせて、保護者、家族と交流する機会を設ける
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった場合は管理者を中心に、事実確認と対応を行う。月に1度、苦情解決委員会を実施。	継続
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	5	訪問支援事業としてのSNS発信は行っていない・放課後等デイサービス事業での発信は行っている	継続
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個別の個人の情報は、職員以外の耳に入らないよう十分気をつけて話し合いを行う。書類等に関しては事務所で徹底管理をしている。	継続
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて児童、保護者にとって最適なツールを活用して情報伝達を行っている	継続	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		必要な情報提供、相談対応を実施。	継続
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		支援後には、担任またはコーディネーター、進路指導担当等と情報提供の時間を設けている	継続
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		支援実施後は必ず保護者様へ電話をし支援の報告をしている。後日報告書を作成し渡している。	継続

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		細心の注意を払い、情報の取り扱いを行う。	継続
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		信頼関係構築に努め、必要な助言、情報共有を行う	継続
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		放課後等デイサービス事業所と共通の計画を作成。緊急時は訪問先の対応に準拠する	継続
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		放課後等デイサービス事業所と共通の計画を作成。緊急時は訪問先の対応に準拠する	継続
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員会議時に共有。必要に応じて対策を検討	継続
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		全職員が研修を受講している	継続
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現状は身体拘束に該当する行為はないが、今後発生する可能性がある。	継続